

# DXに関する当社の取り組み

## 代表メッセージ

共和観光株式会社は、昨今のデジタル化に伴う市場環境の劇的な変化にスピードで対応していくために、2025年5月より「DX統括本部」を発足し、デジタル人材育成・IT導入促進・ITツールの活用サポートを推進することを決めました。

各拠点に点在する業務情報をデジタル化し、本部にて一元的に集約・可視化することで、バックオフィス業務の効率化と省力化を図るとともに、集約された情報を活用し、顧客サービスや設備品質の向上に繋げることを目指します。また、DXの進捗については当社のホームページにて定期的に配信し、DX推進の方向性・意義・進捗状況を社内全体に継続的に伝えていきます。

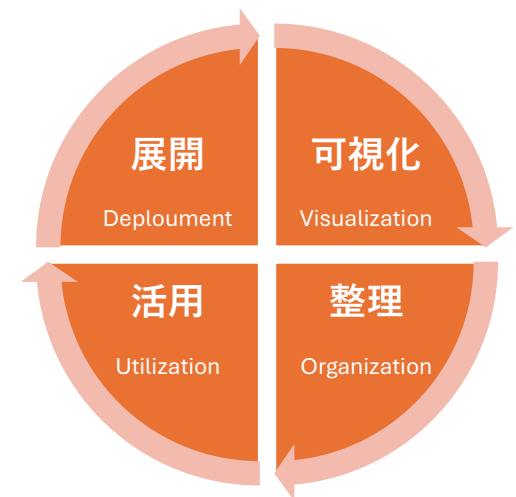
共和観光株式会社  
代表取締役 江本日東

## DX化を推進するサイクルを確立

当社のDX戦略は、全社的な情報活用によって業務改革を推進し、継続的に改善が行われる仕組みを構築していきます。

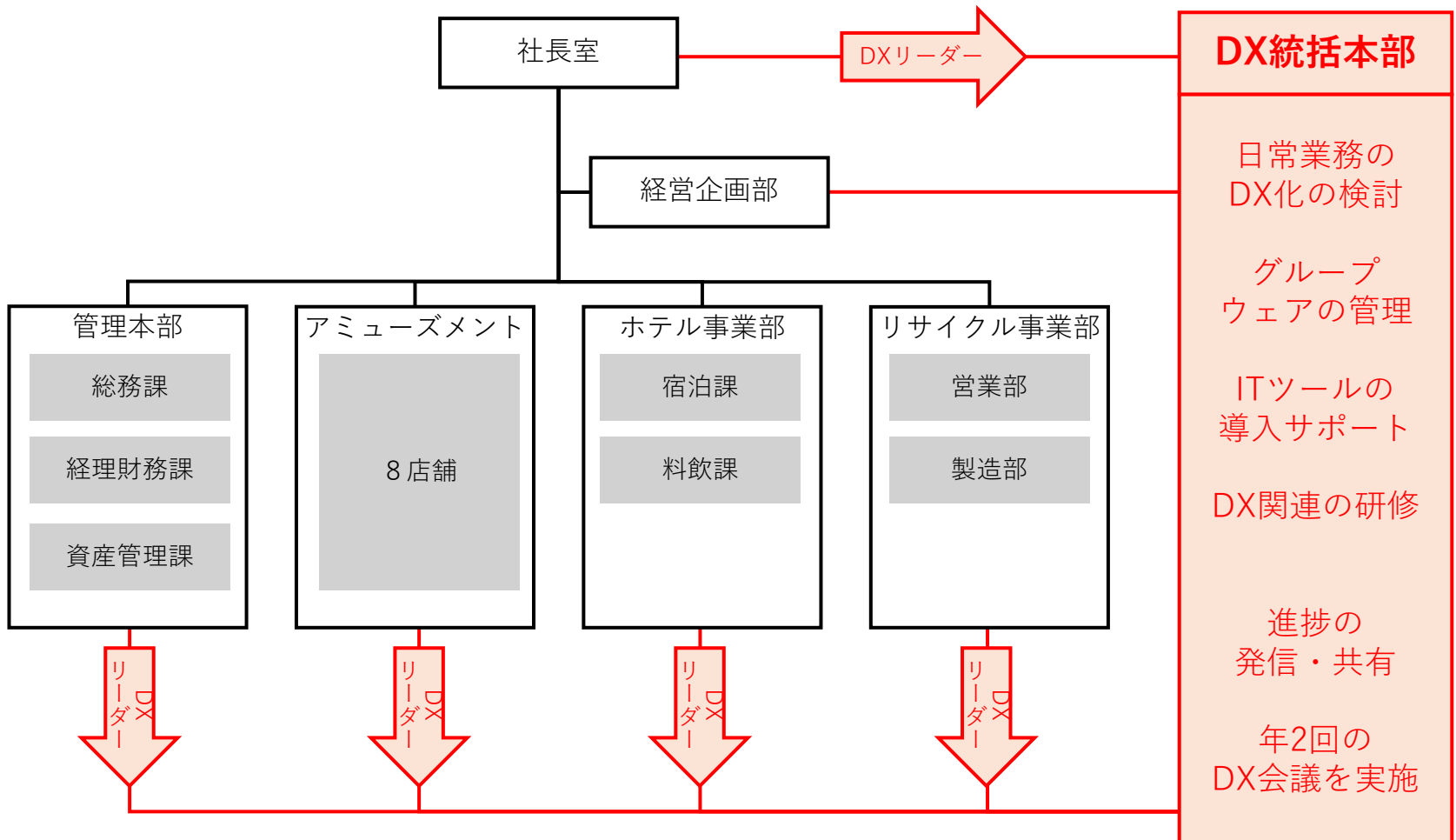
まず、各部門で使用されている業務ツールや運用実態を調査し、課題や非効率な点を可視化します。次に、業務のデジタル化を段階的に進め、全拠点の情報を本部に集約・統一します。集約された情報は、各部門での施策検討や意思決定に活用します。また、こうした改善の成果や知見は他部門にも展開され、全社的な変革へと広がっていく体制を整えています。

このように、情報を「可視化、整理、活用、展開」プロセスを通じて、DXを一過性の取り組みではなく、企業全体に根づく変革の力として定着させていきます。



# DX推進体制

DX推進を強化するため2025年5月より「DX統括本部」を発足し、デジタル人材育成・IT導入促進・ITツールの活用サポートを推進します。各拠点には「DXリーダー」を配置し、現場起点での改善提案と意思決定支援の体制を整備しています。



## DX化を進めるための環境の整備

### 全体

- 各部門における業務ツールや運用実態を調査し、課題や非効率な要素を可視化することで、業務プロセスの合理化を図ります。
- 全拠点での業務情報のデジタル化と本部への集約を起点とし、情報処理技術を業務に活用できる環境を段階的に整備します。

### 各部門

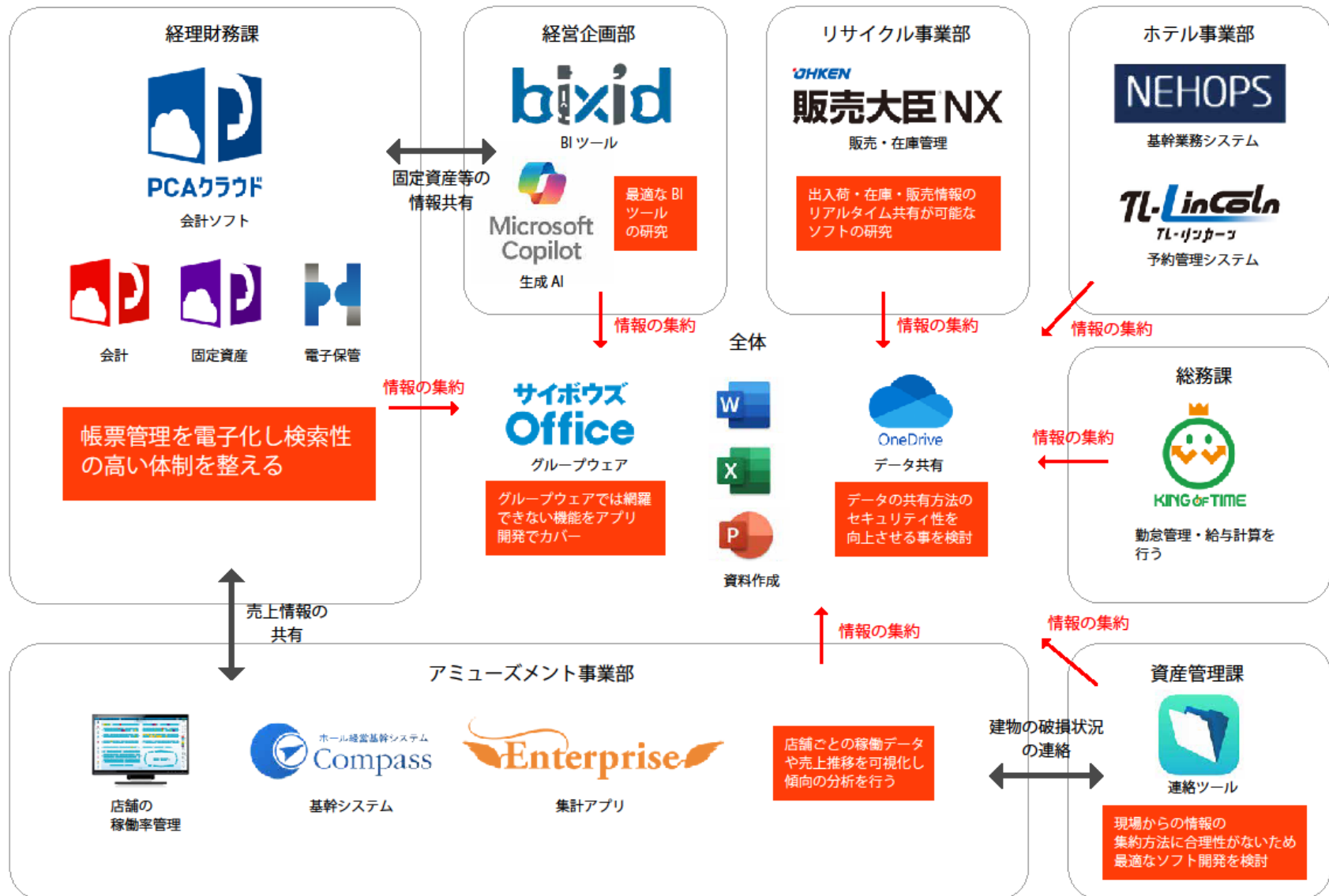
- 次ページを参照

## DX化の達成状況を図る指標

DXの推進状況を可視化するため、各部門ごとに定量的・定性的なKPIを設定し、定期的に評価・見直しを行っています。

KPI項目	数値目標（年間）	備考
部門別の使用ツール調査完了率	100%（全拠点・全部門）	業務棚卸と現状整理の基盤
紙帳票の電子化率（対象帳票数ベース）	80%以上	手書き帳票からPDF・Webフォーム等に電子化
自社で開発・活用された内製業務アプリ数	3本以上	ノーコード利用含む
BIツールや生成AIからの分析結果が反映された施策の件数	10件以上	集計・傾向分析から運用変更まで
現場からの業務改善提案件数	10件以上	「改善が出る文化」をKPIで育てる
DX的な改善事例の社内共有件数	20件以上	成果を出すより「展開すること」を評価軸に

# 既存ソフトのステークホルダーマップ



## 情報セキュリティポリシー

全てのステークホルダー（社員、お客様、お取引先・地域）からの期待に応え、安心と信頼を頂くため、情報セキュリティポリシーを以下の通り定め、これを実行し、かつ、維持することを宣言します。



セキュリティ対策自己宣言

- (1) 当社が保護すべきは、当社が取り扱うすべての有形・無形の情報資産とします。  
それら情報資産には当社の情報のみならず、お客様から預かっている情報資産も含まれます。
- (2) 当社は、情報資産を不正な改ざんや漏洩、サービスの妨害から保護する責任者として「情報セキュリティ統括責任者」を任命します。
- (3) 当社は、取り扱う情報資産に応じて、最適な情報セキュリティ対策を講じるものとします。
- (4) 社員は、定められた情報セキュリティ対策に準じて行動します。  
万一、違反行為が認められた場合には、社内規程に定める懲罰を受けます。
- (5) 当社は、個人情報保護法をはじめとする関連する法規制を遵守します。
- (6) 当社情報セキュリティ対策は、「情報セキュリティ担当部門」で推進を図ります。